

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

令和 3 年度の本校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
① 暴力行為の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ● 10 件は対教師が 2 件、生徒間が 7 件、器物破損が 1 件となった。 ● 今年度も構内体制の充実と生活指導の強化、および本人の特性を鑑みた関わり方の工夫が課題となっている。
② いじめの状況等	<ul style="list-style-type: none"> ● 22 件中 17 件は解消している。その他 1 件は 3 ヶ月以上経過して対応中、2 件は 3 ヶ月の経過を待っている状態。 ● 2 件は就学校の指定変更の対応があった。 ● 冷やかしやからかい、悪口が 12 件と最も多かった。
③ 小・中・義務教育学校における不登校の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期欠席者で前年度調査より継続となった生徒が 16 人であった。また、90 日以上の欠席者は 16 人となっている。 ● 登校時間を探しての別室対応や地域と連携した個別対応を実施し、一部の生徒は再登校などの効果も見られた。 ● 新たな不登校生と増やさないことが課題となる。